

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
医療安全管理学	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	金子 博司 ※
授 業 概 要					
臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、感染管理及び医療安全に配慮して適切に検体採取ができる能力が身につけられるよう教授する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 検体採取に伴う接遇を理解する。 ・ 検体採取に伴う危険因子を認識し、合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。 ・ 検体採取は医師又は歯科医師の指示の下で行われることを認識し、責任を持って対応することを理解する。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	医療倫理：技師と患者との関わり、コミュニケーションスキル				金子 博司 ※ 他
2	医療倫理：技師による検査説明、				
3	医療倫理：チーム医療への技師の関わり				
4	医療安全：医療事故と医療過誤				
5	医療安全：インシデント・アクシデント、医療事故発生時の対処				
6	医療安全：医療事故防止対策				
7	医療安全：感染対策				
8	法的知識と責任範囲：関係法規、医療事故と損害保険				
9	検体採取：採血技術				
10	検体採取：採血による医療過誤				
11	検体採取：皮膚表在組織病変部				
12	検体採取：鼻腔拭い液				
13	検体採取：咽頭拭い液				
14	検体採取：鼻腔吸引液				
15	検体採取：便の採取				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義の内容は広範囲になるので教科書をよく読み、しっかりと基礎知識を理解すること。 ・ 不明な点は必ずその場で解決すること。 ・ 実技を伴う内容が多いため、危険性については十分予習してから臨むこと。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・ 遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・ 定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。 ・ 再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
医療倫理学、臨床心理学、解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、解剖生理学Ⅲ、解剖生理学Ⅳ、解剖生理学Ⅴ、医学概論					
教科書、参考書					
〔教科書〕 臨床検査学講座 医療安全管理学 諏訪部章 他 医歯薬出版					